④ 調 査 票

人権に関する市民意識調査

【調査へのご協力をお願い】

市民の皆様には、日頃から舞鶴市の人権施策に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

舞鶴市では、「一人ひとりの人権が尊重されるまちづくり」をめざして、「舞鶴市人権教育・啓発推進計画」に基づき、啓発や学習など様々な取り組みを実施しています。

令和3年度に現計画が終了することから、更なる施策の充実を図るための新計画の策定を予定しています。その基礎調査として、市民の皆さんのお考えや現状を調べるための意識調査を実施いたします。

調査の実施にあたり、18歳以上の市民の方から無作為に対象者を選ばせていただきましたところ、あなた様のご意見をお伺いすることとなりました。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

この調査は無記名でお答えいただきますので、個人の回答内容が特定されることはありません。また回答内容は、すべて統計的に処理し、この調査以外に使用することはありません。

令和2年10月

舞鶴市

【お願い】

- ▶ アンケートには宛名のご本人がご回答ください。
- ▶ 回答は質問ごとにあなたのお考えに近いものに○をつけてください。
「その他」にあてはまる場合は、その内容を()に記入してください。
- ▶ 記入後の調査票は、同封の返信用封筒でご返送ください(切手不要)。
お名前や住所の記入は不要です。

回答期限:令和2年11月6日(金)までに投函ください。

【問い合わせ先】舞鶴市 人権啓発推進課

電話 0773-66-1022

Eメール: jinken@city.maizuru.lg.jp

用語の説明

※1 LGBT等

下記の言葉の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者（セクシャルマイノリティ）を表す言葉の一つとして使われることもあります。

L (Lesbian レズビアン)：女性の同性愛者

G (Gay ゲイ)：男性の同性愛者

B (Bisexual バイセクシャル)：両性愛者

T (Transgender トランスジェンダー)：身体の性と心の性が一致しない人

等：男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性を決められない・わからない人など。

※2 ドメスティック・バイオレンス (DV)

夫婦や恋人などの親密な関係にある人からふるわれる暴力のことです。被害者は女性には限定していませんが、配偶者からの暴力の被害者は、多くの場合女性です。なぐる・けるなどの身体的な暴力だけでなく、精神的暴力・性的暴力・経済的暴力・社会的暴力も指します。

※3 パワーハラスメント

同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為のことをいいます。

※4 セクシュアルハラスメント

職場や学校などあらゆる場において相手の意に反した性的な言動により不快感を与え、相手の心身や就労環境、その他の生活環境を害するなどの不利益を与えることをいいます。異性間のみならず、同性間の場合も含まれます。

※5 SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービス (Social Networking Service) の略。人々が社会的なつながり合いを持つための、インターネットのサービスのことです。フェイスブック、インスタグラム、ツイッター、LINE、YouTube など

※6 合理的配慮

障害のある人が障害のない人と平等に人権を享受し行使できるよう、一人ひとりの特徴や場面に応じて発生する障害・困難さを取り除くための、個別の調整や変更のことです。お店などで車いすの人でも自由に移動できるよう段差をなくしたり、通路を広くしたりする、窓口などで障害のある方の障害の特性に応じたコミュニケーション手段（筆談、読み上げなど）で対応する、など。

※7 プロバイダ

インターネットへの接続サービスを提供する事業者のことです。

※8 パートナーシップ制度

地方自治体が同性カップルに対して、二人のパートナーシップが婚姻に相当すると承認し、自治体独自の証明書を発行する制度のことです。法律上の効果はありませんが、自治体によっては病院での手術の承諾書にサインできたり、市営住宅への応募ができるようになったりします。

人権に関する市民意識調査票

(※)は、別紙（お願い文裏面）の用語の説明を参照してください。

1. 人権の尊重についての認識をお聞きします

問 1. あなたは、次にあげた人権が尊重されていると思いますか。すべての項目について当てはまる番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

項目	尊重されている	ある程度尊重されている	あまり尊重されていない	尊重されていない	わからない
(1) 女性の人権	1	2	3	4	5
(2) 子どもの人権	1	2	3	4	5
(3) 高齢者の人権	1	2	3	4	5
(4) 障害のある人の人権	1	2	3	4	5
(5) 同和地区出身者の人権	1	2	3	4	5
(6) アイヌの人々の人権	1	2	3	4	5
(7) 外国人の人権	1	2	3	4	5
(8) 性的少数者（LGBT等(※1)）の人権	1	2	3	4	5
(9) 感染症患者の人権	1	2	3	4	5
(10) 犯罪被害者の人権	1	2	3	4	5
(11) 刑を終えて出所した人の人権	1	2	3	4	5

2. 人権侵害についてお聞きします

問 2. あなたは、過去 5 年間に自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。
(○は 1 つ)

1. ある 【問 3・問 4 へお進みください。】
2. ない 【問 5 へお進みください。】

問 3. 【問 2 で「1. ある」と回答された方にお聞きします。】
どのようなことで自分の人権が侵害されたと感じましたか。次のうちからお答えください。(○はいくつでも)

1. あらぬ噂や悪口による名誉や信用などの侵害
2. 公的機関や企業、団体による不当な扱い
3. 地域での暴力、脅迫、仲間外れ
4. 配偶者やパートナーによるドメスティック・バイオレンス (DV) (※2)
5. 家庭内 (親子間など) での暴力や虐待
6. 思想・信条に関すること
7. 性別に関すること
8. 出生地に関すること
9. 社会的地位に関すること
10. 心身の障害に関すること
11. プライバシーの侵害
12. パワーハラスメント (※3)
13. セクシャルハラスメント (※4)
14. インターネット上 (SNS (※5) など) の人権侵害
15. その他 ()

問 4. 【問 2 で「1. ある」と回答された方にお聞きします。】
人権が侵害されたと感じたとき、あなたはどのような対応をしましたか。
(○はいくつでも)

1. 相手に対して人権侵害であるとして注意したり、抗議したりした
2. 友達など信頼できる身近な人に相談した
3. 家族や親族に相談した
4. 公的機関 (法務局・府・市役所・人権擁護委員・警察) に相談した
5. 職場の相談窓口相談した
6. 弁護士に相談した
7. だまって我慢した
8. その他 ()

3. 人権問題一般についてお聞きします

問 5. あなたは、人権問題に関する相談窓口として、どのようなものを知っていますか。
(○はいくつでも)

1. 市の人権啓発推進課
2. 市の「女性のための相談室」
3. 府や市の弁護士による「無料法律相談」
4. 府の「人権問題法律相談 (Legal Rescue)」
5. 人権擁護委員による「人権なんでもお気軽相談」や「人権特設相談」
6. 法務局
7. 警察署
8. どれも知らない
9. その他 ()

問 6. あなたは、次にあげた人権を取り巻く舞鶴市の状況についてどう思いますか。
すべての項目について当てはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

項目	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	わからない
(1) 市民一人ひとりの人権意識は 10 年前に比べて高くなっている	1	2	3	4	5
(2) 舞鶴市は、人権が尊重されたまちになっている	1	2	3	4	5

4. 子どもの人権についてお聞きします

問 7. 子どもの人権に関することで、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(○は3つまで)

1. 子ども同士が暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをする
2. いじめを見て見ぬふりをする
3. 子どもに身体的・心理的な虐待を加えたり、子育てを放棄したりする
4. 子どもの虐待に気づいても見て見ぬふりをする
5. 「しつけ」と称して体罰を行う
6. 大人が子どもの意見を無視したり、大人の見解を押し付けたりする
7. 子どもが被害にあう犯罪が増えている
8. インターネット上などに有害な情報が氾濫している
9. 特に問題はない
10. その他 ()

問 8. 子どもの人権を守るために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。
(○は3つまで)

1. 子どもへの虐待を防止、早期発見するための取り組みを強化する
2. 保護者や子どものための相談・支援体制を充実する
3. 学校において、差別やいじめ防止の取り組みを強化する
4. 家庭内での人間関係を安定させ、家族の絆を深める
5. 子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する
6. 子どもの人権を尊重するよう大人の意識を変える
7. 子どもへの犯罪に対する取り締まりを強化する
8. 地域の人々が子育て家庭や子どもをあたたく見守り支える
9. 特に必要なことはない
10. その他 ()

5. 高齢者の人権についてお聞きします

問 9. 高齢者の人権に関することで、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(○は3つまで)

1. 活躍する場や能力を発揮する機会が少ない
2. 振り込め詐欺等の犯罪に巻き込まれやすい
3. 家庭や施設での介護を支援する制度が十分でない
4. 意見や行動が尊重されない
5. 高齢者にとってわかりやすい形で情報が伝えられていない
6. 身体的・心理的な虐待を受けたり、介護を放棄されたりする
7. 特に問題はない
8. その他 ()

問 10. 高齢者の人権を守るために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。
(○は3つまで)

1. 就労の場や能力を発揮する機会を充実する
2. 社会参加しやすくなるような環境づくりを推進する
3. 高齢者の人権を守るための教育・啓発活動を推進する
4. 世代間での意見交換や交流を進める
5. 高齢者のための相談・支援体制を充実する
6. 高齢者に対する虐待を早期に発見し、市などに通報する
7. 振り込め詐欺等の犯罪に対する取り締まりを強化する
8. 特に必要なことはない
9. その他 ()

6. 障害のある人の人権についてお聞きします

問 11. 障害のある人の人権に関することで、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(○は3つまで)

1. 障害の特性が十分に理解されていない
2. 就労の場や機会が少なく、経済的に自立が困難である
3. 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受ける
4. 結婚に際して周囲の反対を受ける
5. スポーツ・文化・地域活動などの社会参加のための受け入れ体制が十分でない
6. 障害のある人に必要な情報が伝わらない
7. 差別的な言動や態度をとられる
8. 特に問題はない
9. その他 ()

問 12. 障害のある人の人権を守るために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。(○は3つまで)

1. 就労の場や機会を充実する
2. 社会参加しやすくなるような環境づくりを推進する
3. 障害を理由とした不利益な扱いの防止や合理的配慮(※6)についての教育や啓発を推進する
4. 障害のある人やその家族等を対象とする相談や支援体制を充実する
5. 障害のある人の人権を守るための教育や啓発を推進する
6. 障害のある人もない人も互いに交流できる機会を積極的に設ける
7. 特に必要なことはない
8. その他 ()

7. 同和問題（部落差別）についてお聞きします

問 13. あなたは、現在でも部落差別があると思いますか。(○は1つ)

1. 部落差別はまだある 【問 14 へお進みください。】
2. 部落差別はもうない 【問 15 へお進みください。】
3. わからない 【問 15 へお進みください。】

問 14. 【問 13 で「1. 部落差別はまだある」と回答された方にお聞きします。
その原因はどこにあると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 部落差別に関する正しい知識を持っていない人がいるから
2. 落書きやインターネット上などで差別を助長する人がいるから
3. これまでの教育や啓発が十分でなかったから
4. 昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから
5. 地域社会や家庭において偏見が植え付けられることがあるから
6. 同和地区が行政から優遇されていたように感じるから
7. 道路や水道などのインフラ整備が十分でない地域がまだ残っているから
8. 「同和は怖い」という意識がまだ残っているから
9. 教育や啓発をやり過ぎたから
10. 特にない
11. わからない
12. その他 ()

8. 外国人の人権についてお聞きします

問 15. 外国人の人権に関することで、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(〇は3つまで)

1. 文化や習慣の違いが理解されない
2. 就職や職場で不利な扱いを受ける
3. 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受ける
4. 結婚に際して周囲の反対を受ける
5. 外国語の表記などの対応が十分でないため、情報が十分に伝わらない
6. 外国人のための相談・支援体制が十分でない
7. 特に問題はない
8. その他 ()

問 16. 外国人の人権を守るために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。
(〇は3つまで)

1. 文化や習慣の違いを理解するための教育や啓発を行う
2. 外国人の就労の場や能力を発揮できる機会を充実する
3. 外国人のための相談・支援体制を充実する
4. 情報提供や情報発信における多言語化を推進する
5. ヘイトスピーチや差別言動への規制を強化する
6. 外国人のための日本語教室を充実する
7. 日本人と外国人との交流の機会を増やす
8. 特に必要なことはない
9. その他 ()

9. インターネット上での人権侵害等についてお聞きします

問 17. インターネットに関することで、人権上特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

1. インターネット上で他人を誹謗中傷する
2. プライバシーに関する情報を無断で掲載される
3. SNSが犯罪を誘発する場になる可能性がある
4. 拡散された情報を容易に消せない
5. 匿名なので、無責任な発言が多い
6. 特に問題はない
7. その他 ()

問 18. インターネット上での人権侵害を解決するために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

1. インターネット上で被害を受けた人のための相談・支援体制を充実する
2. 利用者等に対して、個人情報に対する正しい理解を深めるための教育や啓発を推進する
3. プロバイダ(※7)等に対し人権侵害の書き込み等の削除を求める
4. 監視や規制の体制や法整備を充実する
5. 表現の自由にもかかわる問題であり、慎重に対応する
6. 特に必要なことはない
7. その他 ()

10. 性的少数者(LGBT等)の人権問題についてお聞きします

問 19. 性的少数者(LGBT等)の人権に関することで、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

1. 性的少数者(LGBT等)に対する理解が不十分で、誤解や偏見がある
2. 当事者であることを言いだせない雰囲気がある
3. 学校や職場等で嫌がらせやいじめを受ける
4. 差別的な言動や態度を取られる
5. 同性のパートナーには、戸籍上の夫婦でないことによる不利益がある
6. 特に問題はない
7. その他 ()

1 2. 市で行う人権啓発についてお聞きします

問 23. あなたは、舞鶴市が行っている人権啓発事業で知っているものはありますか。
(○はいくつでも)

1. 広報まいづるやホームページでの啓発
2. 市が開催する人権に関するセミナー、講演会や映画上映会
3. 人権標語募集
4. 市役所前広報板による啓発
5. 視聴覚教材の貸出
6. 市民が行う人権講座等に係る経費の助成制度
7. 知っているものはない
8. その他 ()

問 24. あなたは、人権問題や人権課題の解決に向けて、どのようなことが効果的だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 市が行う講演会、研修会、映画上映会
2. 市民団体が行う啓発イベント
3. 家庭や地域での人権教育の支援
4. 学校での人権教育の充実
5. 職場での人権研修の充実
6. 冊子・パンフレットを利用した啓発
7. 広報紙やホームページを利用した啓発
8. インターネットやSNSを利用した啓発
9. 相談窓口の充実
10. 行政職員に対する人権研修の充実
11. 教職員や指導者に対する人権研修の充実
12. その他 ()

1 3. 市民交流センターについてお聞きします

問 25. あなたは、北浜・市場・福来・荒田・長浜市民交流センターのうち1か所でも
知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている 【問 26・問 27 へお進みください。】
2. 知らない 【問 28 へお進みください。】

問 26. 【問 25 で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。
問 25 の市民交流センターを利用したことがありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

問 27. 【問 25 で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。】

問 25 の市民交流センターについて知っていることを次の中から選んでください。(○はいくつでも)

1. 市民交流センターは福祉の向上や人権啓発の拠点である
2. 子どもから高齢者までの様々な講座や事業が行われており、市民はだれでも参加することができる
3. 人権に関する相談から日頃の困りごとまで何でも相談できる
4. 市税等の納付や指定ごみ袋の販売、紙おむつ用ごみ袋の無料交付をしている
5. 市民が活動できる部屋があり、だれでも有料で借りることができる
6. 市民交流センターで、どのようなことが行われているのか知らない

1 4. あなたご自身のことをお聞きします

問 28. あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性
2. 女性
3. その他

問 29. あなたの年齢をお答えください。(記入日現在) (○は1つ)

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳以上

問 30. あなたは、舞鶴に住んで何年になりますか。(記入日現在) (○は1つ)

1. 1年未満
2. 1年以上5年未満
3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満
5. 20年以上30年未満
6. 30年以上

問 31. 市の人権施策について思うことがありましたら、ご自由にお書きください。

※**女性の人権**については、今年度別途「男女共同参画に関する市民アンケート調査」を行いましたので、この調査ではお聞きしません。

ご協力ありがとうございました。
調査票は、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。
(切手は不要です)

舞鶴市 人権に関する市民意識調査 結果報告書

発行：2021年3月19日

発行者：京都府立大学公共政策学部公共政策学科 窪田好男研究室

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

電話：075-703-5168

本報告書は、京都府立大学における受託研究（舞鶴市人権についての市民等意識調査に関する研究・集計・分析）において作成された。